

# 東京都立多摩図書館の移転について

## 1 移転の経緯

- 平成22年 3月 「都立多摩図書館基本構想」整備の基本方針を決定  
施設の経年による劣化、所蔵資料が収蔵庫の限界を超えている  
状況、開架・閲覧スペースの不足
- 平成23年 1月 「都立多摩図書館の施設整備について」教育委員会報告・公表  
(1) 平成28年3月開館予定  
(2) 多摩図書館は西国分寺駅至近（国分寺市泉町）の都有地に移  
転改築  
(3) 同じ建物内にある多摩社会教育会館（ホール、研修室等の都  
民利用施設）は廃止を検討し、機能の一部を移転後の多摩図書  
館に引継ぐ。
- 平成23年11月 新多摩図書館工事基本設計・実施設計  
～平成25年11月
- 平成26年 8月 新多摩図書館工事着工  
移転先の建設地にあった旧建物の残存基礎の撤去等により、工事  
計画・移転計画を再検討し、開館時期は平成29年1月を予定
- 平成28年 8月 移転準備作業を開始し、現多摩図書館は閲覧室で可能なサービスを  
継続（～12月まで）
- 平成28年10月 新多摩図書館工事完了・引渡し、移転開始
- 平成29年 1月 新多摩図書館開館予定

## 2 多摩図書館の概要（雑誌、児童・青少年資料の専門図書館）

	現多摩図書館	新多摩図書館
所在地	立川市錦町（多摩教育センター）	国分寺市泉町
最寄り駅	J R南武線西国立駅徒歩10分	J R中央線・武蔵野線西国分寺駅徒歩7分
専有延床面積	4, 351 m <sup>2</sup>	8, 972 m <sup>2</sup>
閲覧席	158席	227席
収蔵容量	103万冊	285万冊
開架冊数	3万8千冊	10万1千冊

## 3 新多摩図書館のサービス展開（予定）

- ・都立図書館の役割：①広域的かつ総合的情報拠点として資料及び情報を収集・保存  
②調査研究及び区市町村立図書館を支援
- ・区市町村立図書館：①地域の実情に応じて資料及び情報を収集  
の役割 ②利用者への貸出しが中心

- (1) 「東京マガジンバンク」（公立図書館で最大規模の雑誌の専門サービス）の充実  
直接閲覧できる雑誌を534誌から計6000誌の最新1年分に拡大し、調査研  
究を行う利用者の環境を充実
- (2) 「児童・青少年資料サービス」の充実  
児童書の最新1年分4500冊を直接閲覧できる選書コーナーを設置し、学校や  
区市町村立図書館の選書を支援
- (3) 施設等の充実
  - 大規模な研修等を行うセミナールームの設置[200名（100名×2分割可）]
  - 打ち合わせをしながら資料を利用できるグループ閲覧室の設置（20名程度）
  - カフェスペースの設置
  - 開館時間の延長（中央図書館に準じる）
- (4) オリンピック・パラリンピックをきっかけとした国際化の支援
  - 外国語雑誌最新1年分が直接閲覧可能（400誌、9カ国語）
  - 外国語の児童書を展示

### ◎多摩教育センター内の多摩社会教育会館の廃止

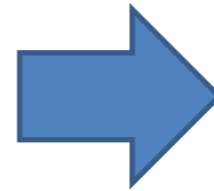
- 多摩社会教育会館（ホール、研修室等）は、多摩教育センターを管理する現多摩図書館  
の移転時期に合わせて廃止する。
- 現多摩図書館が多摩社会教育会館で開催している研修や講演会は、新多摩図書館のセミ  
ナールームで実施する。
- セミナールームは、多摩図書館の事業等で使用するほかに、都民への貸出を行う。

### 【スケジュール（予定）】

- 平成27年12月 廃止条例案の提出（ホールの予約開始が1年前のため）
- 平成28年 8月 多摩図書館移転準備作業に伴い貸出施設をホールのみ縮小
- 平成28年12月 多摩社会教育会館廃止

【多摩教育センター・移転後の多摩図書館案内図】

多摩教育センター（多摩図書館・多摩社会教育会館）  
立川市錦町6-3-1



移転後の多摩図書館  
国分寺市泉町二丁目102番11

